

## 提案3 下水道ががんばっていること

### キャッチコピー 水守る、住民守る下水道。支えているのは私たち！

#### 情報発信のポイント

- 下水道を支えている様々な職種（分野）に着目し、それぞれのシンボリックな部分や職員のがんばりをアピールすることで、「多くの職種の技術や取り組み、職員の努力で支えられている」という下水道の特性を伝える。
- 今後の下水道を担う中学生から大学生、進路指導を行う教師を主なターゲットとする。

#### 1. 今までの情報発信

##### （取り組み状況）

- 自治体として、例えば就職を考えている学生が「下水道に係わる仕事をしてみたい」と思えるような、職種及び携わる職員に着目しアピールした情報発信の事例はない。

##### （課題・問題）

- 上記のような取り組み状況であるため、下水道が実は多くの職種の技術や取り組み、職員の努力で支えられているものだということが認知されていない。この趣旨において、今回職種や職員に着目した情報発信は行う価値があると考えられる。

#### 2. 下水道未来計画研究会としての提案

##### （提案）

- 下水道は多職種にわたる技術職と、企業としての経営を支える事務職に支えられていることをアピールする。また、災害支援や海外協力など、見えにくい部分もクローズアップする。
- 上記について、各職種（分野）のシンボリックな部分を整理し、興味をひきつけやすく分かりやすい情報発信を行う。

##### （効果）

- 「下水道に係わる仕事をしてみたい」と思ってもらえることができれば、下水道事業に対しても一層興味をもってもらえることが期待でき、これにより下水道事業に関する情報発信もより効果的なものとなると考えられる。

#### 3. 提案を受けて想定される情報発信

- 各分野のシンボリックな施設等をビジュアル的（写真等）に示す。
- PR方法は、基本的に「キャッチコピー」＋「ビジュアル」で示す。

各職種（分野）PRのキャッチコピーとビジュアル（例）

職種（分野）	キャッチコピー	ビジュアル（写真）
計画技術	下水道プランナー	計画打合せの現場から
土木技術	ライバルはアクアライン	大口径シールド
建築技術	脱、ハコ物！処理場も立派な都市景観	上部利用や景観に配慮したデザインの施設
機械技術	ゼロエミッションを目指して	焼却炉、炭化炉など
電気技術	防げ！温暖化	風力発電、NaS電池など
水質管理技術	更なる水環境向上へ	水質試験室
維持管理	下水処理場のパイロット！	コントロール室
企業経営 PR活動	下水道の営業マン	水洗化のPR、下水道科学館
災害支援	下水道にもある支援の輪	新潟中越地震の復旧支援活動状況
海外協力	世界の水環境を考える	JICA派遣職員の技術指導

○メディアの種類と特性を整理し、個々の条件の中で最も効果的なメディアを使用する。

使用メディアの種類と特性（ターゲットが中～大学生の場合）

使用メディア	ターゲット性	受動性	印象度	保存性	到達性	コスト面
TV広告	○	◎	◎	×	◎	×
新聞広告 (一般誌)	△	○	×	○	△	△
電車の中吊り 駅の掲示板	○	◎	○	×	△	△
タッチポイント* (街中の工事現場など)	○	◎	○	△	△	◎
対人PR (出前講座、催事)	◎	○	△	○	×	◎
インターネット	×	×	△	○	△	△
パンフレット等	○	△	△	○	△	△

\* 広告の業界用語で自然に人の目に触れる場所のこと。

水守る、住民守る下水道

支えているのは私たち！

もっと知ってほしい、  
私たちの仕事のこと。



ライバルはアクアライン！



脱！ハコ物



下水処理場のパイロット！



ゼロエミッションを目指して！



防げ！温暖化



下水道プランナー！



下水道の営業マン



下水にもある支援の輪



世界の水環境を考える



更なる水質向上へ

ライバルはアクアライン！

最先端の土木技術。下水道も負けてません。

私は、土木技術者として水害から住民の皆さんを守る  
雨水貯留管の計画・設計に携わっています。

下水道管は“地図に載らない道”ですが、世界最先端  
の土木技術が生きています。地下を自由に掘り進む  
シールドマシン、出来たトンネルはアクアラインにも負け  
ません。



〇〇〇〇

■口市下水道部建設課

## ゼロエミッションを目指して

下水汚泥の有効利用は地球にやさしい先端技術



〇〇〇〇

### 〇〇市下水道部施設課

下水道から発生する汚泥は産業廃棄物全体の〇〇%を占めており、汚泥の有効利用は下水道事業において重要な課題です。

私は〇〇市に入庁△年目でこの部署に配属され、常に下水汚泥の有効利用を考えてきました。

たどり着いたのが炭化汚泥、下水汚泥を炭のように蒸し焼きすることで脱臭剤や土壌改良剤など多岐にわたる有効利用を実現しました。

## 防げ！温暖化

下水処理場の電力使用量は市内屈指。省エネはCO2削減に重要です。



〇〇〇〇

### 〇〇市下水道部施設課



下水処理場は市内屈指の電力需要があります。CO2排出量が少ないと言われる夜間電力を蓄電池にためて昼間のピーク時に放電します。

その他、風力発電や太陽電池の活用等、アイデアは尽きません。